

2012年度上半期 石川県新築住宅着工件数 2012年4月~9月 石川県新築住宅着工件数

建設工業新聞調べ

さくらホームグループ 金沢地区TOP20

(金沢市・野々市市・白山市・かほく市・津幡町・内灘町)

順位	会社名	戸数
1	AXSデザイン	105
2	ニューハウス工業	77
3	秀光ビル	67
4	大和ハウス工業	56
5	アプリケーション	45
6	アイワホーム	42
7	玉家建設	41
8	住友林業	40
9	タマホーム	36
10	石友ホーム	34
11	積水ハウス	33
	中村住宅開発	
13	ひまわりほーむ	28
14	北陸ミサワホーム	26
15	さくら	23
16	タカノホーム	22
17	ウッドライフホーム	21
18	エスアイユー常陽	20
	アントール	
19	ヤマダタッケン	18
	西内工務店	

2012年度石川県上半期TOP20

順位	社名	戸数	順位	社名	戸数
1位	ニューハウス工業	112	9位	積水ハウス	44
2位	AXSデザイン	105	12位	アントール	36
3位	秀光ビル	99	13位	北陸ミサワホーム	34
4位	大和ハウス工業	72	14位	中村住宅開発	33
5位	住友林業	50	15位	さくら	31
6位	タマホーム	46	17位	タカノホーム	30
7位	アプリケーション	45	18位	ひまわりほーむ	28
9位	石友ホーム	44	19位	エスアイユー常陽	22
	玉家建設			ヤマダタッケン	

新築住宅の建築確認申請棟数(併用含み、共同住宅除く)を本紙が集計。確認申請の受付日が基準。独自に入手した建築情報、かつ調査であるため、実際の数値と異なる場合がある。

さくらホームグループ

AXSデザインが金沢地区No.1



AXSデザイン 地渡政彦社長

今春、金沢市藤江に本社移転

「ITを使った生産体制」

さくらホームグループのAXSデザイン(石川県野々市市)が、2012年度上半期の石川県新築住宅着工件数で、金沢地区(金沢市、野々市市、白山市、かほく市、津幡町、内灘町)において他社を大きく引き離し圧倒的な強さでNo.1を獲得した(本紙建設工業新聞調べ)。金沢地区シェアトップという大躍進の秘密をグループの代表でもある地渡政彦社長に聞いた。

目指すはワンストップサービス

「当社はほとんどマーシャルをやっている。知らない人が多いと思うが、できる限り販売や広告にお金を掛けるのではなくなるべく商品にコストを還元し、ハイグレードな住まいを口コストで提供している。それが結果的には口コミや紹介という形で徐々に広がっているのではないか」と、消費者を受け入れられている理由を分析する。

もちろん、他社を圧倒するその価格設定には、もう一つ大きな理由がある。それが一回化によるコスト削減と効率化である。同社では、当初からIT活用した社内業務の効率化に取り組んでいる。

例えば、現場管理はグループウェアを活用し、協力業者も含めて工程や図面、連絡事項などを皆が同じ画面で情報共有する。同社の現場にいる大工さんは「iPadが必要だ」「導入当初は打ち込み作業が煩わしい」という人もいたが、ようやく定着してきた感じ。反対に今ではなくてはならないものにシステムを通して「一つの現場を見えて、支え合っている」とした上で、「これだけの棟数をこの少數精鋭

【低炭素住宅】従来の省エネ基準に比べ、さらに10%省エネ性能高めた「低炭素住宅」の認定を始めたなど、金沢市に初めて取得した。これは、CO₂の排出抑制を目的に、昨年12月に施行された都市低炭素促進法に基づく、低炭素建築物(低炭素住宅)を各自治体が評価・認定する制度で、認定物件は長期優良住宅と同等の税制・ロー優遇などが受けられる。例えば、住宅ローン減税では一般住宅に比べ、年間最大10万円、10年間で計100万円

【Fシリーズ】2012年から、主力商品である自由設計の家の「Fシリーズ」は、従来の1グレードから3グレードにいたしましてアップを充実した。高気密・インサートを追求し省エネ性能を高めたハイスペックな「F3」。「F2」は低炭素住宅の認定基準のミドル級、「F1」は値段に特化したもので、多様化する顧客ニーズに対応する。3グレードの比較ができるように使用する部材をすべてオーブンにして、車のカタログのように、性能の違いが一目でわかるような商品構成となっている。

併せて2月集中で企画住宅「Vシリーズ」を追加する。間取りが決まっており、性能は限られる一方で、設計・作業などのコストを大幅に削減し、品質な住まいを低価格で購入できることが魅力の商品だ。また、石川、富山、福井の北陸3県で提供している木造2階建ての賃貸アパート「D-BOX」も実現する商品で、土地が比較的安い

が優遇される。「これまで耐久性と省エネ性能の高い住宅を追求してきた結果、従来仕様の住宅も、その基準を十分に満たしている」と、第三者である評価機関の技術的審査結果を説明する。

アベロッパーのマスターが開発するウェブマーティンゲンシステムで、相互に報告・連絡・相談でき、ひとつのグループウェアを通して、現場での検査写真などを順次アップし、施工に情報を提供するもので、「お客様は空いな」と手応えを掴む。また、施主を中心に、業者マンやデザイナー・設計と現場管理がひとつのグループウェアを通して、相互に報告・連絡・相談でき、好評だ。現場での検査写真などを順次アップし、施工に情報を提供するもので、「お客様は空いな」と手応えを掴む。

い富山や福井では早期回収が見込めることから、土地を購入し、一度に4棟から6棟をまとめて建設する投資家も多いといつてこそ、消費増税に伴う駆け込み需要も追い風となっている。

「グループの拠点を集約化されると、省エネ性能の高い住宅を追求した結果、従来仕様の住宅も、その基準を十分に満たしている」と、第三者である評価機関の技術的審査結果を説明する。アベロッパーのマスターが施工し、さくらホームが販売する人気の分譲住宅「SHシリーズ」では今後、低炭素住宅の認定を全棟で取得していく。「お客様は減税枠が増えると同時に、しかも省エネ仕様であり、ランニングコストも非常に安い。尚且つ、認定書があることで方が一括契約になつたとして、当然、資産価値は高くなる」と消費者メリットを挙げる。

さくらホームグループでは現在、各社の拠点を順次統合している。昨年10月にさくらホームのマスターが施工し、富山営業所を富山市に移転した。さらに、今春に野々市市市橋町のAXSデザイン石川営業所の同一敷地に、さくらホーム元野々市移転、両社が合体する新店舗を石川県庁近くの金沢市藤江にオープンさせた。すでに既存建物(350坪)の改修工事が始まており、3月にも新装開店する予定だ。

拠点の集約について、「例えば、お客さんは家を建てた場合は建築会社、土地探しには動産会社に行く。また住宅を売る、借りる場合はまた違う不動産会社に行つたりなど、お客様の資本的な流れは同じでも、残念ながらバラバラのがこの業界だと指摘した上で、「わたしたちが目指すのは、今までのワンストップサービス」。買取りから貸す、売る、建てる直すマンションまで、グループが集まれば、べてに対応できる。

さくらホームは石川県を中心し、不動産取引で北陸最大級、AXSデザインは新築からリフォーム、マスターは住宅の販売、Sデザインが賃貸、それらの分野で強い会社が協力することで、本当のいわんストップサービスが提供できる」と強調し、会社設立以来、思い描いていたものがようやく形になつて見えてきた。グループの強みを最大限に發揮するビジネスモデルで、更なる

さくらホームグループは新たな感動の創造と豊かな生活の提供をお手伝いいたします。



さくらホームグループ 株式会社 AXS デザイン

建設業許可【国土交通大臣(般-20)第22774号】

AXS一級建築士事務所【石川県知事登録第13360号】

AXS二級建築士事務所【富山県知事登録第(1)2087号】

本社: 電話(076)248-4407(代) FAX(076)248-4477

石川営業所: 電話(076)216-8880(代) FAX(076)216-8881

富山営業所: 電話(076)495-1337(代) FAX(076)495-1338

福井営業所: 電話(0776)63-5631(代) FAX(0776)63-5632

住まいづくりに、新しいバリューを。

axs design

フリーダイヤル

0120-130333

<http://www.axs-inc.jp/>